

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和4年 2月 1日

事業所名:スポーツとまなびのひろばSAIYO

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	机、ホワイトボードを活動に応じて動かし、子ども達が動きやすいように場所の確保を行っている。	はい28 どちらともいえない4 いいえ1 わからない1 ・少しせまい	子ども達の安全を考慮して机などを動かし、スペースの確保に努めている。
	2 職員の適切な配置	常時5名～6名のスタッフを配置し、スタッフ1名につき利用者2名の支援体制をとっている。年度当初にまなびっ子通信にて職員紹介をした。	はい25 どちらともいえない2 いいえ0 わからない7 ・適切な人数というものがわからないので判断できません	通信を利用して職員の紹介を継続する。また、適正な配置を継続する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内はバリアフリーだが、施設を整骨院と共有している。タイマーや絵、写真をホワイトボードに掲示している。	はい30 どちらともいえない2 いいえ0 わからない2	子ども達にとって過ごしやすい環境を維持していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	始業前に清掃を行い、アルコール消毒も実施。休憩時間に子ども達が自由に取り出せるよう、遊びに関するものは手の届くところに置いている。	はい30 どちらともいえない2 いいえ0 わからない2	室内の清掃、消毒、換気を引き続き行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日終了後の振り返りをしている。また、月1回の社内の会議にて業務計画や進捗を報告。		引き続き行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価の実施は行っていない		必要に応じて実施していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修は、その都度周知している。月1回もしくは祝日に社内勉強会を実施し、職員の質の向上を図っている。		研修の機会を設け、社内での勉強会を利用してスタッフで共有していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	独自のアセスメントを行い、その結果と保護者のニーズをスタッフで検討。サービス利用計画も参考にしている。	はい33 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 ・コロナ禍でも電話懇談等で対応をお願いします	現状を維持していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動が主になるが、個別支援計画書に個別の課題についても記載している。		現状を維持していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の子どもの実態に応じた目標と支援内容を記載している。	はい32 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0 未記入1	現状を維持していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画は更新されるたびにスタッフ全員が目を通せるようにしている。また、ミーティングや終了後の振り返りで情報の共有を行い、共通認識が持てるようにしている。	はい34 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0	現状を維持していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	社員で内容を検討し、決定した内容を非常勤スタッフにも周知している。		個々の支援のポイントを検討し、スタッフに周知する現状を維持していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご家族からの相談には柔軟に対応している。	はい29 どちらともいえない3 いいえ1 わからない1 ・子どもからいつも一緒に聞く	ご家族からの相談にはできる限り対応していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	平日は決まった時間に脳トレ、運動を行っている。内容は飽きがこないよう週ごとに変更している。土曜日のイベントは子ども達を楽しめるものを検討。夏休みは、ゲームを取り入れ療育だけでなく楽しむことも取り入れた。		療育の様子を保護者にも伝えられるよう、通信の内容の変更を検討中。また、新しい療育も提供できるよう研修などで学ぶことも継続していく。脳トレ課題を持ち帰り、保護者に見てもらうことも継続する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ミーティングで送迎、療育の内容、配置について確認をしている。		現状を維持していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日のできごとやご家族からの連絡について情報を共有している。		現状を維持していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	非常勤のスタッフからも気づいたことなどを社員に報告してもらい、日々の記録として個人のファイルに綴じて保管。その記録はスタッフ全員が見れるようにしている。		現状を維持していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	面談実施前月にモニタリングを実施、社員で計画の見直しを行っている。		定期的に行えるよう社内での協力体制を維持していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が対応しているが、担当しているスタッフが対応することもある。		依頼があれば柔軟に対応していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	利用している子がいない		今後必要となった場合検討していく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	利用している子がいない		今後必要となった場合検討していく。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	依頼がないので実施したことはない。		依頼があれば柔軟に対応していく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	学校卒業後、障害福祉サービスに移行する子がまだいないので、実施したことはない。今後依頼があれば対応したい。		卒業間近の利用者の保護者には情報提供が可能であることを周知し、対応していく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	支援学校の連絡会や市内の事業所連絡会に児童発達管理責任者が出席。研修案内を対象スタッフに配布し、参加を促した。		今後も参加していく。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流を行ったことはない。土曜日のイベントで公園に出かけ、地域の人との交流をもつ機会があった。	はい7 どちらともいえない4 いいえ9 わからない14	放課後に学校や地域の友達と交流がある子どもが多いので、積極的には検討していない。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民を招待できるような事業所の行事は実施していない。		コロナ禍の現状を踏まえ、地域とのつながりを今後も検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明をしている。	はい32 どちらともいえない2 いいえ0 わからない0	現状を維持していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に説明をしている。	はい33 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0	現状を維持していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・プログラムの検討は行っていたが、実施まで至っていない。	はい17 どちらともいえない4 いいえ9 わからない3 ・コロナ禍なのでそのようなことは最近難しいのでは？と思います	検討していたが、実施に至っていないので、継続できる形で保護者に情報提供していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳などで利用時の様子を伝えている。面談時に保護者の思いを聞き、事業所の思いを伝えることもしている。	はい31 どちらともいえない3 いいえ0 わからない0	現状を維持していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	面談、連絡帳、電話で対応している。	はい26 どちらともいえない6 いいえ2 わからない0	現状を維持していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会はない。コロナ禍のため、療育参観の実施を見合わせており、保護者同士の交流の機会を作れていない。	はい0 どちらともいえない8 いいえ13 わからない13 ・コロナだからなかなか密集ができないこともあると思います。 ・保護者が必要としているかによると思う。 ・コロナ禍なの父母の会等ができなくても仕方ないと思います。コロナが落ちついたら開催してほしいです。	個別に参観の要望に応じていたが、参観の機会が持てるよう実施方法など検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合はスタッフに周知し、すぐに対応するようにしている。	はい23 どちらともいえない3 いいえ0 わからない8 ・苦情をあげた覚えがないので、どのような対応をしてくださっているのかわかりません。	その都度、素早く対応していく。また、スタッフにも周知しておく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	FAX、メールを使って対応している。また、イベント案内に写真を載せ、イメージしやすくしている。また、子どもに応じて筆談や情報機器を使って意思伝達を行っている。	はい30 どちらともいえない3 いいえ0 わからない1	LINEの導入を検討中。個々に応じて対応していく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のまなびっ子通信の発行を行っていたが、滞っている。	はい24 どちらともいえない4 いいえ0 わからない6	通信の内容を検討し、4月から再度配布できるようにしていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報使用同意書を保護者と取り交わしている。写真については社外の人の目に触れないような掲示をしている。社外の人が見る場合は個人が特定できないようにもしている。	はい30 どちらともいえない1 いいえ0 わからない3	今後も個人情報の取り扱いに十分に配慮していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時、まなびっ子通信で周知をしたが、十分な周知の徹底には至っていない。	はい20 どちらともいえない5 いいえ1 わからない8 ・防犯マニュアルは聞いていない。マニュアルを見た覚えがない気がします。	口頭での説明だけでなく、文書のマニュアルの配布を行えるよう検討していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、長期休暇時に実施。	はい23 どちらともいえない1 いいえ0 わからない10	長期休暇時に避難訓練を行い、保護者にも周知していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部の研修にスタッフが参加。また、事業所内の月1回の勉強でも学ぶ機会の確保を行っている。		今後も研修に参加していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行っていない。		身体拘束はしない。また、スタッフ間で身体拘束をしないよう協力体制を作っておく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書までは保護者に提出をお願いしていないが、契約時や子どもの状況が変わるたびに保護者からの聞き取りや連絡帳でのやりとりをしている。		必要なときは保護者に依頼して提出をお願いする。スタッフ間でチェックし、安心して過ごせるようにしていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	月1回社員で経緯から情報を共有している。また、非常勤のスタッフにも社員から周知している。		今後も継続し、非常勤スタッフにも共有していく。